



Nishitokyo City
西東京市

議会だより

第72号

平成29年2月15日
(2017年)

〒188-8666 西東京市南町5-6-13

042-464-1311

編集/議会報編集委員会

発行/西東京市議会

平成28年

第1回臨時会
第4回定例会



○ 第1回臨時会

会期…11月30日(水)

1日間

○ 第4回定例会

会期…12月2日(金)～12月21日(水) 20日間

	審議件数	可決・採択 ※	否決・不採択
議案	45(2)	45(2)	
- 条例	9(1)	9(1)	
- 予算	2(1)	2(1)	
- その他	34	34	
議員提出議案	4	3	1
請願・陳情	13	3	10

※「可決・採択」には、同意を含んでいます。
※件数は、臨時会と定例会の合計で、括弧内は臨時会の件数です。

「東京2020オリンピック・パラリンピック フラッグツアーセレモニー」が開催されました

リオデジャネイロから東京都に引継がれたオリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが都内を巡り、西東京市では、平成28年12月17日に都立田無高等学校でフラッグ歓迎セレモニーが開催されました。

当日は約400人の市民が詰めかける中、リオデジャネイロ2016パラリンピックの走り幅跳びで銀メダル、男子400mリレーで銅メダルを獲得された陸上選手 山本篤さんから、オリンピックフラッグを丸山市長に、パラリンピックフラッグを2018年冬季パラリンピックの出場を目指している市民代表で市職員のアイススレッジホッケー選手 高橋和廣さんにそれぞれ引継がれ、東京2020大会開催に向けた気運を醸成しました。

「平成28年度一般会計補正予算(第4号)」を可決

6面へ

一般会計の歳入歳出について、それぞれ5億6,687万2,000円を追加する補正予算を可決しました。主な内容は、保育施設に係る賃借料に対する補助及び保育従事職員宿舍借り上げを支援する補助等による増額です。(第4回定例会)

庁舎統合方針(案)に関する事項について調査報告を行いました

7面へ

平成27年3月に設置した庁舎統合方針検討特別委員会で、庁舎統合方針(案)について議論を重ねてきた結果を報告しました。(第4回定例会)

主な議案等

10面	9面	8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
議案等の議決結果一覧 請願・陳情の結果 今定例会で可決した意見書 次定例会のお知らせ 会派名の変更 会議の開催状況 会議録の公開予定 編集後記	議会NEWS① 議場コンサートを開催しました 議会NEWS② 議会を傍聴しませんか 議員研修会	委員会視察REPORT 文教厚生委員会 議会運営委員会 企画総務委員会 建設環境委員会	庁舎統合方針検討特別委員会調査報告 委員会の審査から	一般質問の要旨 遠藤 源太郎 議員(自民) 保谷 なおみ 議員(自民) 浅野 高司 議員(自民) 用語の解説 臨時会の審議から 予算特別委員会の審査から	一般質問の要旨 森 信一 議員(民主改) 納田 さおり 議員(無所属②) 田中 のりあき 議員(自民) 浜中 のりあき 議員(自民) 小林 のりあき 議員(自民) 酒井 一郎 議員(自民)	一般質問の要旨 桐山 ひとみ 議員(みらい) 小峰 和美 議員(みらい) 後藤 ゆう子 議員(みらい) かとう 涼子 議員(ネット) 坂井 孝之 議員(民主改) 二木 孝之 議員(民主改)	一般質問の要旨 藤田 美智子 議員(公明) 佐藤 公男 議員(公明) 小幡 勝己 議員(無所属①) 森 てるお 議員(無所属①) 山崎 英昭 議員(みらい)	一般質問の要旨 森住 孝明 議員(共産) 保谷 清子 議員(共産) 藤岡 智明 議員(共産) 大田 光昭 議員(公明) 大田 伸之 議員(公明) 大林 光昭 議員(公明)

紙面の紹介(もくじ)

「声の市議会だより」をお届けしています。
(デジ版・CD版)

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎042-421-4545)へお問い合わせください。

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第4回定例会で27人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

◇質問の詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。

凡例

- 自由民主党西東京市議団(自 民)
西東京市議会公明党 (公 明)
日本共産党西東京市議団(共 産)
統一会派みらい (みらい)
民主改革フォーラム (民主改)
生活者ネットワーク (ネット)
無所属 (無所属)

道路整備は住民の声を聞いて！
待機児解消と保育士の処遇改善を

森住 孝明 (共産)

まちづくり行政について

質問 田無駅南口駅前広場整備の進捗状況について伺う。また、整備の財源はどう考えるのか。都市計画道路3・4・24号線は、今後どのように進めるのか。

回答 平成28年7月から関係権利者への事業協力をお願いと個別説明、物件調査を開始した。財源は国の補助金などを活用する。3・4

24号線は、田無駅南口広場整備計画の進捗を踏まえ、事業可能時期を検討する。意見 商店や近隣住民への速やかな情報提供と丁寧な説明を求める。

質問 都市計画道路3・3・3号線の東京都との検討状況、周辺住民への周知について伺う。

回答 東京都において事業化に向けて調整している。

高齢者福祉の充実、農業振興で、誰もが安心できるまちづくりを！

保谷 清子 (共産)

高齢者福祉について

質問 市の総合事業へ移る要支援1・2の方への家事援助を行う「くらしヘルパー」の研修時間が14時間だ。重要な見守りにも関係する仕事としては研修時間が少ない。現状を問う。

回答 14人が研修を受けた。26事業者が研修修了者を雇い入れる意向だ。

意見 研修時間を増やし、事業者とも力を合わせ、研修内容を深めよ。農業振興について

質問 都市農業振興基本法が成立し、都市の農業・農地は宅地化から保全するものへと方向転換した。相続税や固定資産税の軽減につ

いて、国に意見を上げよ。回答 都市農地保全自治体協議会から国に要望を行っている。

質問 生産緑地を買い取り、高齢者や障害者、子どもたちも利用できる農業公園の整備を求める。

回答 生産緑地の買い取りは、総合的に検討し、まちづくりを生かしていきたい。東伏見公園の整備について

質問 「暗過ぎるので電灯を増やして」「高齢者が使える健康遊具を備えて」との要望がある。東京都への働きかけを求める。

回答 さまざまな要望について、適宜東京都へ伝えていく。

最期まで自宅で介護されたい願いに応えるサービスの普及を図れ

大竹 あつ子 (共産)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

質問 要介護高齢者の在宅での介護を24時間支える定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、働きながら介護をする家族には非常に助かるサービスだ。本市にはまだ開所されていないが、潜在的ニーズは高い。どのように普及させていくのか。

回答 市民や地域包括支援センターなどに情報提供・周知を行い、まずは1カ所の開設を目標とする。障害者の就労について

質問 相談支援センターえぼつくは福祉就労の相談を受ける。職員は市内障害者施設を詳しく知る必要があるが、研修はどのように行っているのか。

回答 研究会や相談支援事業所との連携により資質の向上に努めている。意見 職員が市の施設を知らないということがないよう職場体験等の研修を行う

誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを進めよ

田代 伸之 (公明)

質問 認知症高齢者の方の徘徊ひとり歩き対策として、「みまもりシール」の配布が始まった。必要とされる方、地域の方への丁寧な情報提供が重要。周知方法は、

活用については、保護者の方々に配慮し、一定の知見を見きわめ検討する。

質問 今後、さまざまな媒体を使い周知を進める。

質問 28年度施設整備に向けた支援策を取りまとめ、企画提案型の補助制度の創設を目指す。

質問 自閉症スペクトラム障害の早期発見に有効なMICHATのホームページ掲載を検討すべき。

質問 実態に即した空き家対策のため、市内全ての空

29年度予算編成、市民負担増の行財政改革は行うべきでない

藤岡 智明 (共産)

質問 市民の暮らし向きに

関係なく行財政改革を図るのか。市民の暮らしの痛みをどう認識しているのか。

回答 行財政改革は不断の取り組みとして推進する。市民の生活は消費者マインドにつながるのではない状況が一部見られるが、選択と集中を進める中で市民サービスの向上に努める。

意見 国保料、保育料、がん検診費用などの負担増では市民の健康の保障がない。行財政改革は見直すべきだ。庁舎統合方針について

質問 優先すべきは保谷庁舎耐震診断・評定だ。また市民合意についての認識は、

最も早く耐震対応が

少子高齢社会を見据え、まちづくりのビジョンを示せ！

大林 光昭 (公明)

質問 2庁舎統合による市民サービスの向上、財政負担軽減の見直しを問う。

質問 「子どもとその家族が安心して暮らせるまちづくり」を進めるための条例の制定を検討すべき。また、子育て支援パスポート事業の取り組みを問う。

質問 科学的立証を踏み外す判断は拙速にやるべきではない。説明会やパネル展示などの参加状況から見て合意には至っていない。

質問 市として実態調査、対策をどう進めていくのか。

回答 児童扶養手当の支給対象者に33項目のアンケートを実施(回答率42.3%)。年度内に集計し、結果を踏まえ対策を検討する。

質問 「健康応援都市」が市民にわかるように政策を示すべき。また、フレイル予防が注目されているが、本市の取り組みを問う。

回答 健康づくりに関する



市内20施設に設けられている授乳スペース

ことを求める。地域猫ボランティアの方々の協働について

質問 市内で猫の多頭飼育崩壊が起こった。ボランティアの方々が引き取りを行ったが費用や労力の重い負担がかかった。未然に防ぐためには、庁内の連携が必要だが見解は。

回答 関係機関・関係部署との連携を進めていく。

き家調査を行うべき。

回答 全棟調査は重要である。具体的なスケジュールや内容について改めて示す。

質問 ひばりヶ丘駅南口のパーキングメーター撤去に伴い、利用者の方々の安全対策を行うべき。

回答 安全確保に向けた整備方法を検討していく。

質問 ひばりヶ丘駅北口自転車駐車場の拡充を。

回答 生産緑地の買い取り申請があり、自転車駐車場用地確保に向け、地権者の方と交渉を進めている。

内20施設で、授乳スペース確保や粉ミルクのお湯の提供を行っている。

質問 田無駅南口駅前広場整備の進捗を問う。

回答 関係権利者へ協力をお願い、補償等の個別説明、物件調査を行っている。

一般質問 (2)

「給食時間が短くて食べたいのに残している」子どもの声に応えよ

藤田 美智子 (公明)

質問 「給食時間が短くて食べたいのに残している」と保護者から相談があった。市内生徒へのアンケートでは、1千780名(47%)が「短い」と答え、「ちょうどよい」と答えた生徒より多く、3年前から改善されていない。さらに、「給食を残す・時々残す」と答えた生徒の割合は、主食21%、肉・魚23%、野菜28%で2割以上にもなる。給食審議会資料によると、各校の給食時間は、25分1校、30分2校、35分1校、40分3校、45分2校と差がある。配膳・下膳の工夫等を共有し、子どもの声を反映した改善を求める。

質問 残菜の関係について、認識が甘かったと反省している。現状を分析して、喫食時間を確保し、その結果、残菜が減り、子どもたちもしっかり食事ができることを目指し、検討していきたい。

質問 中町地域の水路にかかるふたの劣化で、つまずいてけがをする市民がいる。安全対策を求む。

質問 老朽化対策としての計画的なインフラ整備は今後の検討課題とする。

その他質問等

◇「コールド無」の利用者目線の管理運営について

◇AEDコンビニ設置で24時間稼働の環境整備について

3館合築は公明党指摘の6項目が解決できなければゼロから見直せ

佐藤 公男 (公明)

質問 市民会館・中央図書館・田無公民館の3館合築は、公明党が指摘している6項目①十分な市民説明②南部地域の適正配置③芝久保図書館・公民館との新たな近接問題④全てが中途半端な施設になる⑤20万都市にふさわしい文化ホールの議論⑥中央図書館のあり方の議論。これらがクリアできなければゼロベ

質問 これまでの提案や質疑を踏まえ、より丁寧な対応が必要と判断し、改めて



田無庁舎に隣接する中央図書館と田無公民館

市長2期目の目指す目的を問う！市駐車場利用料の軽減を求める！

小幡 勝己 (公明)

質問 市長は2期目の出馬表明、何を指すのか。

質問 健康応援都市の実現に向けて全力で取り組む。

質問 格差是正のため、認可外保育施設入所児童保護者助成金の増額を求める。

質問 見直しを検討する。



質問 庁舎駐車場は子ども事業無料を拡大、こもれびホール、スポーツセンター利用者は2時間無料にせよ。

質問 無料事業の拡大、15分100円など平成29年4月開始に向け、協議を重ねる。

質問 公共施設予約サービスを24時間稼働せよ。

質問 29年度のシステム更新で改善の検討を進める。

質問 増える児童のニーズの課題解消に全力を尽くせ。

質問 児童館、児童センター

市民参加というのならやり方が違うのだろ！

森 てるお (無所属)

質問 市長にとって市民とは何か。庁舎統合暫定案では、「勝手に決めたい」といって「しよう」と聞こえる。市民広場に仮庁舎建設の方針とともに長期計画がない。

質問 場面場面で市民と話す機会はある。統合庁舎については10年間延ばした。声が出ない6、7割の市民の声をいえる手法で取り入れてきた。

質問 計画はある程度まとめてから市民に提示すると言ってきたが、まとめるのに誰の意見を聞いたのか。市民にたたき台を出して、市民議論を経て練り直せと言っている。成案を出されるも意見を出しづらい。行政主導、官僚主導だ。市民参加ができていない。

質問 声なき声を

1、放課後子供教室との連携などを検討する。

質問 谷戸小学校から雨水が大量に流れる。改善せよ。

質問 現在東京都と協議し対応について検討している。

質問 南町、柳沢、栄町の交通空白地域を解消せよ。

質問 先進事例を参考に移動手段を引き続き検討する。

質問 オリピック・パラリンピック教育は重要な機会となる。取り組みを問う。

質問 2020年までを3期に分ける。第3期は開催年、選手村での歓迎、観戦応援、ボランティア参加等の取り組みを行う。

質問 公民連携の積極的活用！

質問 PFI等の民間活力を導入した公民連携については、市側も専門知識を持った人材の確保と専門部署の設置が必要である。

質問 人材の育成や組織体制の構築に努める。

質問 生産緑地の再指定について

質問 都市農業振興基本法の施行に伴い、市で検討できる生産緑地の再指定について、庁内で再検討すべき。

質問 再指定については税の公平性等検討課題がある。



田無庁舎市民広場

質問 計画はある程度まとめてから市民に提示すると言ってきたが、まとめるのに誰の意見を聞いたのか。市民にたたき台を出して、市民議論を経て練り直せと言っている。成案を出されるも意見を出しづらい。行政主導、官僚主導だ。市民参加ができていない。

質問 声なき声を

捨うのは難しい。少数でも声が大きく多数に見えることがある。2庁舎体制については、総合計画等の中に位置づけはある。保谷庁舎の対応や2庁舎体制の課題解消を検討していく。

質問 変更可能なたたき台を市民に示せということだ。長期計画に2庁舎体制の解消はあるが、2庁舎体制の一定程度の解消はない。

質問 暫定案は真の統合に向けた検討過程の効果的な手法と考える。市民参加で多くの白紙の状態から自由な意見をもらうのは難しい。

西武柳沢駅北口のまちづくりは20年30年40年変わらない？

たきしま 喜重 (みらい)

質問 「柳沢の未来を考え一勉強会にパネラーとして参加したが、改めて地域の関心の高さを実感した。柳沢駅周辺のまちづくりにおいて、優先整備路線西3・4・18号線と柳沢駅北口駅前広場の整備の必要性について市長の見解を問う。

質問 災害時の都市防災機能や公共交通の導入空間、駅前のにぎわいにつながる。市が施行する第四次事業化計画の優先整備路線に選定された他の都市計画道路を含め、28年度から10年間に整備着手できるように、現在、市で進めている他の街路事業等の進捗状況や財政状況を踏まえて今後の実

質問 迷走を続ける庁舎統合方針と3館合築は白紙撤回せよ！

山崎 英昭 (みらい)

質問 迷走を続ける庁舎統合方針は白紙に戻し、市民参加で検討し直せ。

質問 年内に方針決定する。

質問 3館合築はスタートから間違っている。各施設のあり方を検証し、施設全体のランドデザインを描き、長期的な適正規模・配置の中で市民会館売却も含めてゼロから検討し直せ。

質問 丁寧に検討している。

質問 行政が方針決定し、最後にアリバイづくりの市民参加を行うのではなく、構想段階から丁寧な市民参加が不可欠だ。泉小は校舎を取り壊し、敷地半分を売却等の結論ありきで進めた結果、有効なアセットマネ

質問 迷走を続ける庁舎統合方針と3館合築は白紙撤回せよ！

山崎 英昭 (みらい)

質問 迷走を続ける庁舎統合方針は白紙に戻し、市民参加で検討し直せ。

質問 年内に方針決定する。

質問 3館合築はスタートから間違っている。各施設のあり方を検証し、施設全体のランドデザインを描き、長期的な適正規模・配置の中で市民会館売却も含めてゼロから検討し直せ。

質問 丁寧に検討している。

質問 行政が方針決定し、最後に最後にアリバイづくりの市民参加を行うのではなく、構想段階から丁寧な市民参加が不可欠だ。泉小は校舎を取り壊し、敷地半分を売却等の結論ありきで進めた結果、有効なアセットマネ

質問 迷走を続ける庁舎統合方針と3館合築は白紙撤回せよ！

山崎 英昭 (みらい)

質問 迷走を続ける庁舎統合方針は白紙に戻し、市民参加で検討し直せ。

質問 年内に方針決定する。

質問 3館合築はスタートから間違っている。各施設のあり方を検証し、施設全体のランドデザインを描き、長期的な適正規模・配置の中で市民会館売却も含めてゼロから検討し直せ。

質問 丁寧に検討している。

質問 行政が方針決定し、最後に最後にアリバイづくりの市民参加を行うのではなく、構想段階から丁寧な市民参加が不可欠だ。泉小は校舎を取り壊し、敷地半分を売却等の結論ありきで進めた結果、有効なアセットマネ

質問 迷走を続ける庁舎統合方針と3館合築は白紙撤回せよ！

山崎 英昭 (みらい)

質問 迷走を続ける庁舎統合方針は白紙に戻し、市民参加で検討し直せ。

質問 年内に方針決定する。

質問 3館合築はスタートから間違っている。各施設のあり方を検証し、施設全体のランドデザインを描き、長期的な適正規模・配置の中で市民会館売却も含めてゼロから検討し直せ。

質問 丁寧に検討している。

質問 行政が方針決定し、最後に最後にアリバイづくりの市民参加を行うのではなく、構想段階から丁寧な市民参加が不可欠だ。泉小は校舎を取り壊し、敷地半分を売却等の結論ありきで進めた結果、有効なアセットマネ

質問 迷走を続ける庁舎統合方針と3館合築は白紙撤回せよ！

山崎 英昭 (みらい)

質問 迷走を続ける庁舎統合方針は白紙に戻し、市民参加で検討し直せ。

質問 年内に方針決定する。

質問 3館合築はスタートから間違っている。各施設のあり方を検証し、施設全体のランドデザインを描き、長期的な適正規模・配置の中で市民会館売却も含めてゼロから検討し直せ。

質問 丁寧に検討している。

質問 行政が方針決定し、最後に最後にアリバイづくりの市民参加を行うのではなく、構想段階から丁寧な市民参加が不可欠だ。泉小は校舎を取り壊し、敷地半分を売却等の結論ありきで進めた結果、有効なアセットマネ

一般質問 (3)

丸山市政は思いつき予算と計画性なし！健康づくりも停滞中！

桐山 ひとみ(みらい)

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

丸山市長は思いつき予算と計画性なし！健康づくりも停滞中！

健康づくりと予防対策

どんな思いの市政これからどうするのか

小峰 和美(みらい)

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

健康づくりと予防対策

農業と福祉の連携を身近なところから取り組み

後藤 ゆう子(ネット)

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

農業と福祉の連携を

待ったなしの住宅困窮者対策セーフティネットの構築を急げ！

かとう 涼子(ネット)

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

待ったなしの住宅困窮者対策

西東京市の積雪対策の課題は？シルバー人材センターの課題は？

坂井 かずひこ(民主改)

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？



高齢者の働く意欲や健康づくりをサポートするシルバー人材センター

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

西東京市の積雪対策の課題は？

シルバー人材センターは法制化されて30年になり、世界に例を見ない高齢者のためのすぐれた雇用システムとして世界から注目されている。課題である会員の増加と就労の確保に向けた取り組み状況を伺う。

市長 高齢化が急速に進展する中でシルバー人材センターの役割は大きく、会員の増加及び会員の皆様の就業の場の確保は重要と考えている。27年度に策定した「公益社団法人西東京市シルバー人材センター基本3カ年計画」に基づいて活動している。

未就学児の療育も大変重要 児童発達支援施設に不足はないか

二木 孝之(民主改)

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要

未就学児の療育も大変重要



一般質問 (4)



駅前広場整備が始動した田無駅南口

3 館合築複合化は絶対に田無庁舎敷地内で行うべき!
田無駅南口駅前広場
開発が始動した。中央図書館・田無公民館に大ホール機能を備えた3館合築複合化をPFIで行い、地域活性化と担税力強化を目的としたまちづくりを行うべきだ。市民会館建て替え案、市民広場に5階建て仮設庁舎建設案には断固反対する。
田無駅南口は、行政サービス拠点・商業中心拠点と位置づけられている。総合計画や都市計画マスタープランで示した将来像の実現に向けて

田無駅南口まちづくりを核にした担税力強化策こそ未来の力だ!
納田 さおり (無所属)

「交通・地域力・健康」もつと住みよいまちづくりを目指して!
森 信一 (民主改)

検査を進める。保谷庁舎に地域包括ケアセンターを実現せよ!
質問 庁舎統合暫定案で健康課が防災センターに存置される。医師会・高齢者支援課・在宅療養連携支援センターを同地に集約し地域包括ケアセンターの創設を。
答弁 利便性や市民サービス確保の観点から検証する。避難所運営協議会の重要性
質問 学校対応の強化や緊急初動訓練を行い、行政の緊急初動要員と顔の見える関係構築が必要だが対応は。
答弁 校長会を通じて学校防災の啓発に努める。先進事例や他自治体の情報提供、協議会同士の情報共有、緊急初動要員と連携した初動訓練など教育委員会と市長部局が連携して働きかける。

質問 はなバス第4南ルート(本人と勤務する事業所)に対する休業補償等が近隣市では既に行われている。本市でも早期に始めることができないか。
答弁 法律等の趣旨に鑑み、先行した自治体の状況等を踏まえて検討する。
質問 各種がん検診の中で受診年齢を偶数年齢としているものがあるが、初回に限り、奇数・偶数関係なく受診できるように変更すべきではないか。
答弁 乳がん及び子宮頸がん検診については、現在見直しに向けた検討を行っている。

市長選挙について 民間賃貸住宅の入居支援について
田中 のりあき (自民)
質問 市長は平成28年11月7日に記者会見を行い、2期目にチャレンジすることを目指した。その決意を問う。また再選した場合、次の4年間の取り組みを問う。
答弁 引き続き第2次総合計画の施策推進、さらには総合戦略の基軸に掲げた健康応援都市「西東京市」の実現に向けて全力で取り組むことが責務であると考え、引き続き市政運営を担いたいと決意を表明した。
意見 市長と再び市政を進める議論ができることを楽しみに待っている。
質問 本市では保証人が見つからない等の理由により民間賃貸住宅への入居や居住継続が困難な方に対し、市と協定を結んだ保証会社



丸山市長が2期目に挑戦! 西東京市の未来のために全力を!
浜中 のりかた (自民)
丸山市長、2期目の出馬へ! 4年間の成果と今後の西東京市について問う
質問 市長は11月7日に1月29日公示、2月5日投票の西東京市長選挙に2期目の出馬を表明した。この4年間の成果と今後の課題について問う。
市長 大変厳しい財政状況の中、さまざまな分野で市民サービスの向上を図り、新たな行政課題へも対応してきた。引き続き改革を進めながら、地域がそれぞれの特徴を生かした自立的、持続的な社会を創出し、市民の皆様とともに健康応援都市を構築したい。
質問 庁舎統合方針決定へ!
市長 市長は庁舎統合方針(案) 改定版で市の方針を年内に決定すると表明しているが、改めて庁舎統合の意味について問う。

と協力して、住宅探しや保証契約のあっせんを行う住宅サービスネットを開始した。取り組み内容と実績を問う。
答弁 28年度から高齢者等を対象に、家賃保証会社に依頼して、民間賃貸住宅を探す手伝いを行っている。保証人が見つからないために入居が困難な場合には、家賃保証会社との保証委託契約をあっせんし、一定の要件を満たす場合は、保証料の一部を市が助成する。平成28年7月から開始し、11月時点で16件の相談があり、3件が入居に至った。
質問 4年間の任期中に結論が出ていない2庁舎問題、3館合築について問う。
答弁 庁舎問題は、統合庁舎の位置や規模等を検討中で、年内に「庁舎統合方針」を決定したい。3館合築は、年内をめどとしていたが、これまでの意見等を踏まえ、改めて検討したい。
質問 プレイル予防について問う。
答弁 プレイル状態は、フイジカル・メンタル・ソーシャルが重なり合うものとされ、健康寿命と平均寿命の近い離が大きい。プレイル予防に取り組むに当たり、東京大学高齢社会総合研究機構と連携協定を結ぶ予定。

もつと健康!もつと健康に! 丸山市政で進めるまちづくり!
酒井 こう一郎 (自民)
西武柳沢駅周辺について
質問 10年以内に整備着手を予定しているが、工程は。
市長 28年度から10年以内に整備着手できるように実施計画の中で整理する。
公園行政について
質問 指定管理者制度を活用しさらに民間活力や育成の取り組みが必要だ。小さな公園においてコミュニティビジネスやワークショップなどが集まる仕組みづくりをするべきだ。見解は。
市長 課題等を整理し公園配置計画の中で検討する。
質問 東伏見公園の有効活用を図り多様な市民ニーズに応えるべきだ。地域と連携したイベント実施に向けて

市長の政治姿勢について
フレイル、F・C、谷戸バス停
小林 たつや (自民)
意見 医療と介護の連携を軸とした地域包括システムの構築が必要だ。専門的な知識を持つ丸山市長の強いリーダーシップを求める。
質問 市のフィルムコミッションについて問う。
答弁 映画などの撮影場所以を誘致する本事業は、集客や地域の活性化を促す。
意見 シネマ倶楽部の皆様を通じ、コンペティションの若い監督たちと市民を結ぶ橋渡しをしてほしい。
質問 谷戸イチョウ公園付近のバス停について問う。
答弁 西武バスからは、地域商店会の協力も得ながら、関係機関との調整を進める予定と聞いている。

- ◇観光振興事業について
◇市内産農産物の活用について
◇地域コミュニティの再構築について
◇下野谷遺跡について

一般質問(5)、用語の解説、臨時会の審議から、予算特別委員会の審査から

歩いて楽しいまち
住んでよかつたと言えるまち

遠藤 源太郎(自民)

【質問】句碑やオブジェのある楽しいまちづくりは。

【答弁】句碑にかかわらず歩いて楽しめるまちにしたい。

【質問】田無駅南口広場のイメージを早く公開すべき。

【答弁】警視庁と道路の線形などについて協議している。

【質問】都市計画道路第四次事業化のやる気・本気度は。

【答弁】着実に整備着手されるように働きかける。

【質問】みずから守るものがない自転車の安全運転の啓発に力を入れPRせよ。

【答弁】関係機関と協力・連携してモラル向上を図る。

【質問】公道のような私道は積極的に市が整備せよ。

【答弁】条例に基づき、補助

事業を実施している。

【質問】遠くの緑は賛成だが、近くの緑は反対という面がある。緑を守ることはリスクもある。PRせよ。

【答弁】緑の保全には市民の理解が大切。身近な緑の活用と保全に努めている。

【質問】都市の農業を守る本市の現状と対応は。

【答弁】体験農園開設時の支援などを行っている。今後とも国や都の動向を注視し、農業振興や農地保全に取り組む。

【質問】学校給食に地元農産物の積極的な利用をせよ。

【答弁】食材発注が1カ月単位のため長期契約栽培ができない。懇談会を活用する。

泉小学校跡地活用は
地域住民の意向を尊重して進めよ

保谷 なおみ(自民)

【質問】泉小学校跡地活用案について何う。これまでの検討状況と今後の整備スケジュールはどうなっているか。

【答弁】平成27年第1回定例会で、2本の陳情が趣旨採択されたのを受け、地域住民との意見交換などを行ってきた。庁内調査も3回行った。これまで地域からいただいた意見、将来の行政需要等を踏まえ、個別計画との整合性にも留意して、跡地活用方針案は決めた。

【質問】今後は、29年度に校舎の取り壊し、分筆測量や地区計画を行い、施設の設計、整備を進めていく。32年度の整備完了を予定している。

【質問】いこいの森公園には、かつて、東京大学原子核研究所、宇宙線研究所があった。ここで研究していた人がノーベル賞を受賞している。記念の植樹を、平成28年3月定例会で提案した。その後どうなったか。

【答弁】この地で研究した人の中から、4人のノーベル物理学賞受賞者を輩出していることから、次世代を担う子どもたちにとっても、ノーベル賞が身近な存在になり、将来への夢と希望が無限に広がるきっかけになることを期待する。記念植樹については、引き続き関係者と調整しつつ、庁内関係部署で検討を進める。

保谷庁舎は旧市の本丸14年間更地
田無庁舎の中庭に仮庁舎建設

浅野 高司(自民)

【質問】保谷庁舎(本丸)は、田無庁舎中庭に建設する仮庁舎に移転と行政主導で決めている。14年後に庁舎統合となるが、その間保谷庁舎は更地にしておくのか。

【答弁】保谷庁舎敷地にある他の公共施設の更新も見据えた跡地活用案を改めて検討する。

【質問】市長は心や体の健康だけでなく、まちの健康が大事だと言っている。現在の西東京市や行政は健康か。

【答弁】行財政改革を推進することで行政の健康、健康応援都市の実現を目指す。

【質問】ひばりが丘中学校は中原小学校の建設後、ひばりが丘団地南側の(仮称)

第10中学校に移転する。泉小学校に続き、ひばりが丘中学校跡地はどうするのか。

【答弁】公共施設等マネジメント基本方針に基づき、今後検討を進める。

【質問】調布保谷線の都道233号線、保谷庁舎との交差点から北部、新座境にバスベイが整備されているが、現在路線バスは走っていない。今後走る予定はあるのか。

【答弁】東京都が調布保谷線を整備する際に民間バス事業者との協議により、道路の築造に合わせてバスベイを設置したと伺っている。新たなバス路線の検討については引き続き民間バス事業者に要望する。

用語の解説

*MCHAT(エムチャット)

自閉症スペクトラム障害の診断に用いられる乳幼児期自閉症チェックリスト。質問形式で親が答え、自閉症スペクトラム障害の疑いがあるかどうかをチェックする。

*フレイル

元気な状態と介護が必要な状態の中間地点で、年を重ねて心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態。より早くフレイルの状態に気づき、日常生活を見直せば、元気な状態を長く維持できたり、元気な状態に戻すこともできる。

*地域未来塾

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒への学習支援を、大学生や教員OB、NPOなど地域住民の協力により学習支援を実施する事業。

*バスベイ

バス利用者の安全な乗降及び停車中のバスによる本線上的自動車交通の流れに支障を来さないように設けたバス専用スペース。

臨時会の審議から

東京都人事委員会の勧告の趣旨を踏まえ、一般職の職員の間・勤労手当を改定することについて審議を行うため、11月30日に第1回臨時会を開催しました。その審議の主な内容をお知らせします。

①一般会計補正予算(第3号)

②一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【説明】①歳入歳出予算の総額に2千700万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ716億7千372万4千円とするもの。

②一般職の職員の期末・勤労手当の見直しに伴い、規定の整備をする。東京都では民間の支給割合が都職員の間支給給月数を上回るため、期末・勤労手当を引き上げるもので、本市においても東京都と同様に期末・勤労手当の支給割合を0.1月分引き上げるもの。

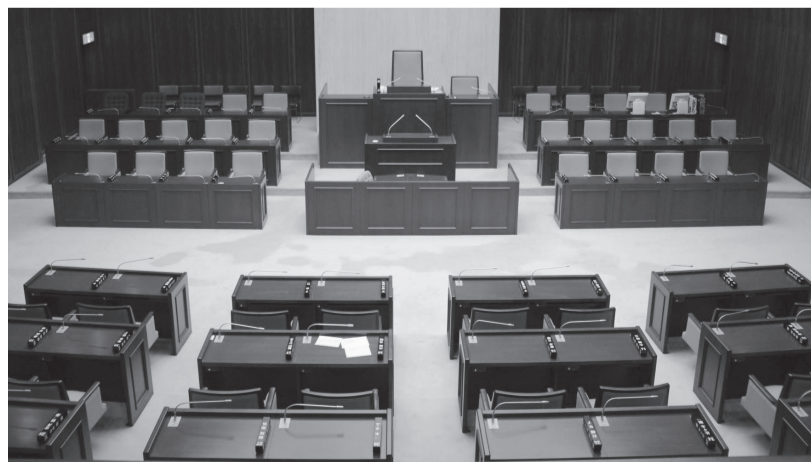
【主な質疑】

問 予備費の充用ではなく、財政調整基金の繰り入れによって財源確保を行った財政上の取り扱い。

答 予備費の充用は年度途中における不測の事態等により予算額の不足が生じた場合に対応している。今回は財政調整基金により予算額を編成したが、歳入と歳出の均衡を図るために、予備費を端数調整して、これまでの慣例に従い対応した。

問 東京都人事委員会勧告の拘束力は、また、今回の改定は勧告通りなのか。

答 地方公務員法の中で人事委員会の設置については規定されている。本市には人事委員会がなく、東京都人事委員会が都内企業、事業所の給与実態を踏まえて勧告されていることから本市においても改定を上程した。改定内容は勧告どおりである。



置について規定されている。本市には人事委員会がなく、東京都人事委員会が都内企業、事業所の給与実態を踏まえて勧告されていることから本市においても改定を上程した。改定内容は勧告どおりである。

【結果】①②とも賛成全員で可決

予算特別委員会の審査から

平成28年度補正予算の主な審査内容をお知らせします。

◇質問内容の詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。

◆一般会計補正予算(第4号)

【説明】歳入歳出予算の総額に5億6千687万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ722億4千59万

6千円とするもの。

【主な質疑項目】

・臨時福祉給付金給付事業費の概要、手続、勤務体制について

・児童福祉運営費の保育従

事職員宿舍借り上げ支援補助金の対象者、割合、対象者を限定した理由、現在従事している方への対応について

・都の待機児童解消加速化プランに掲げられた事業から選択した事業の理由及び選択しなかった事業の理由について

・消防委託負担金の増額理由について

【結果】賛成全員で可決

委員会の審査から、庁舎統合方針検討特別委員会調査報告

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、各委員会での主な審査内容をお知らせします。

企画総務委員会

「損害賠償請求に関する和解について」

後、合築複合化基本プラン策定懇談会の動向を注視しながら、庁舎統合方針決定を目指す。

【説明】本市の非常勤職員が通勤の際に交通事故による災害が生じたため、西東京市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例に基づき、本市がこの被災職員に対し補償を行い、この補償によって本市が取得した、被災職員が被請求者に対して有する損害賠償請求権について、被請求者との間で和解するため、地方自治法の規定に基づき提案するもの。

【主な質疑】

問 事故防止の取り組みは。

答 庁内掲示板での注意喚起、交通安全ニュースの発行を行っている。また、乗用車の安全運転マニユアルを策定し、庁内周知を図るほか、全職員や安全運転管理者に対して、安全運転の研修を実施している。

【結果】賛成全員で可決
「西東京市合築複合化にかかわる陳情」

【趣旨】中央図書館・田無公民館は市庁舎統合の案件とは別にして、現在の場所で存続させることを求める。

【市からの説明】庁舎統合については、庁舎統合方針(案)において、保谷庁舎機能を合築複合化により移転する中央図書館、田無公民館に移転し、施設を有効活用することとしている。今

文教厚生委員会

「国民健康保険条例の一部を改正する条例」

【説明】外国人等の国際運輸業に係る所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の改正に伴い、国民健康保険料の算定規定の一部を改正するもの。

【主な質疑】

問 資料では「正式な国交のない台湾との間で、課税権を調整するための条約に相当する枠組みを構築するため、所得税法等の一部が改正された」とあるが、詳しい説明を求める。

答 例えば台湾にある企業等から日本に住んでいる方(日本人も含む)もしくは台湾の方、それ以外の国の方々が台湾の企業から利子等を受ける場合、または、台湾の企業が発行している

【結果】賛成多数で不採択
「子ども食堂に関する陳情」

【趣旨】本市には「子ども食堂」が5カ所あり、貧困や孤食の子どもの地域の方が無料で食事を提供している。国の具体策がないため、本市で既存・新規の「子ども食堂」に補助金を交付することを求める。

【市からの説明】既存の団体の運営については地域住民や農家、商店などの方々の寄附をいただきながら運営している。今後、既存の団体との意見交換を行いながら、支援のあり方について検討していく。

【結果】賛成少数で不採択
「主な質疑」

問 現実に既存団体から要

建設環境委員会

望されているのか。

【結果】賛成多数で不採択
「市道路線の認定について(12件)」

【説明】都市計画法に基づき開発行為により設置され寄附された道路と土地区画整理事業により設置され寄附された道路を、道路法の規定に基づき認定するもの。

【趣旨】ひばりヶ丘駅北口の絶壁階段と西側のあかずの踏切は高齢者、障害者などに不便である。駅北口のバリアフリー化工事について、鉄道事業者と設計施工の調整を促進し、早期着工を図るよう強く求める。

【市からの説明】ひばりヶ丘駅北口のエレベーター・エスカレーター設置については、現在、西武鉄道株式会社が設計作業を進めており、その推移を見守っている。

【主な質疑】
問 設計業務完了後について確認したい。
答 現在結んでいる協定に基づき、西武鉄道が設計作業を進めており、設計業務完了後、速やかに工事に関する協定が結べるように担当者間で事前調整を進めている。

問 スケジュールを市報、ホームページ、張り紙等で知らせる方法は考えられないのか。
答 現在ひばりヶ丘駅の北口と南口に各1カ所、看板が掲示されている。設計作業が終わり次第、事業の工程が明らかになるため、期日を入れたものが掲示されると聞いている。

【結果】賛成全員で採択

庁舎統合方針検討特別委員会調査報告

庁舎統合方針案の概要

平成27年3月に示された「庁舎統合方針(案)」の基本方針は、1「田無庁舎を活用した暫定的な対応方策を当面の方策とする」、2「平成45年度を目途に真の庁舎統合を目指す」、3「新たな用地(市中心エリア)での統合を視野に検討する」の3点であった。

その後改定版が示され、田無庁舎市民広場にリース方式による仮庁舎を整備することが望ましいとされた。

調査経過

平成27年3月に庁舎統合方針(案)に関する事項について調査する特別委員会が設置され、これまで17回の委員会を開催した。

田無庁舎(昭和58年築)と保谷庁舎(昭和43年築)の両庁舎を活用した現行の1市2庁舎体制は、財政負担、市民サービス、業務効率などの課題がある。両庁舎に配置された窓口業務の重複配置人員費や両庁舎の維持管理経費等の課題、市民サービスでは、両庁舎で事務の取り扱いが異なり、複数の物件で来庁した市民は、庁舎間の移動が生じてしまう。また、庁内会議等での庁舎間移動による業務効率の課題などである。

本庁舎整備基礎調査報告書に基づいて、「田無(市民広場に整備)」「田無(公民館、図書館敷地を活用して整備)」「保谷(新たな用地)」の4つの統合案について議論を重ねる中で、委員会の意見、指摘等を踏まえて、

追記、修正がされて修正版も示された。

なお、本委員会は、第4回定例会の本会議において、調査報告を行い、調査が終了となった。

調査報告に添えられた意見 庁舎統合方針(案)について、執行部に説明を求め、質疑を進める中で、議会としてのさまざまな提案も行い、またそれに対する執行部の検討結果の報告もいただき、議論を重ねてきたところである。

しかしながら、各委員の意見は賛否が分かれ、一致点に到達することはできなかった。したがって、委員会としての意見は集約に至らなかったと結論づける。

なお、庁舎に関しては、最終的な形に至るまで、今後も各段階において検討が重ねられると思われるが、本委員会での議論が参考になれば幸いである。

※詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。



保谷庁舎



田無庁舎

委員会視察 REPORT

企画総務委員会視察報告

日程・視察先	参加 委員数
11月8日 京都府京都市 11月9日 滋賀県草津市	8人
報告者 企画総務委員長 酒井ごう一郎	

京都府京都市

「公共施設の有効活用」について

本市において平成27年3月で閉校となった泉小学校の跡地について、「西東京市公共施設等総合管理計画公共施設等マネジメント基本方針」に基づき、さまざまな角度から議論がされており、本委員会の所管事務である公共施設の適正配置の観点から、有効活用について視察を行った。

京都市では、明治維新後、東京部遷都により京都の人口が急減する中、「人づくりこそが、京都再興の基盤になる」という地域住民の思いから、自治組織ごとに資金等を出し合い「番組小学校」を創設し現在の小・中学校となった。その後、生徒数の減少に伴い統廃合が進む中で、廃校施設の跡地活用として地域住民の活動の場としての施設の保存、また文化の発展・研究の場として新たな機能を持たせる取り組みや、公民協働の取り組みは参考とすべき事例であった。

滋賀県草津市

「草津未来研究所」について

自治体における自治体シンクタンク

クの動向は増加傾向にあり、その役割は一樣ではなくさまざまである。今回、地方自治体の自主性拡大について、その仕組みの構築について視察を行った。

草津市では、「草津市の未来を見据えた創造力ある政策を提案し、草津市の政策審議能力の充実に寄与すること」を目的に草津未来研究所が設置された。主な活動は、調査研究活動及び人材育成活動である。

人口減少、少子高齢化が進む中で、基礎自治体として従来からの業務蓄積に頼るだけでなく、客観性を有するデータ等に基づく政策意思決定が求められる。「自治体シンクタンク」は、政策課題を中長期的、かつ組織横断的に研究を行うことにより、市民ニーズへの対応や全市民的な課題への解決に向けた政策提言を行えることが最大のメリットであり、本市においても市民益にかなう有効な取り組みである。



文教厚生委員会視察報告

日程・視察先	参加 委員数
11月14日 熊本県熊本市 11月15日 福岡県北九州市	9人
報告者 文教厚生委員長 森 信一	

熊本県熊本市

「健康づくりできます店」について

熊本市では、健康サポートメニュー(栄養表示・食事バランスガイド・ヘルシーオーダーメニューの提供等)、地産地消等を認定基準とし、市民の健康増進を推進することを目的として、平成17年より「健康づくりできます店」をスタートした。視察時点では、204店舗が登録、現在も認知度アップや店舗数の拡大のためにスタンプラリーや市報、テレビ等での広報活動を行い普及啓発に取り組んでいる。



課題としては、登録しても閉店してしまう場合があること。栄養表示事業には、労力を費やす全てのメニューが対象ではないので、市民の認

識とずれが生じることがある等が挙げられる。今後も認定基準を時代とともに見直していく。

福岡県北九州市

「ウーマンワークカフェ北九州」について

北九州市では、平成28年5月23日に「ウーマンワークカフェ北九州」を開所した。この施設は女性の職業生活における活躍を地域が一体となって推進することにより、北九州地域への女性の定着と活力ある地域社会の実現を目指しており、国・県・市が一体となり、女性の活躍推進をワンストップでサポートする。国はハローワークと同じく求人情報の提供や紹介、県はその求人開拓や出張相談・随行、市は保育サービスや創業相談を行う。それらの情報をカフェカードとして統合し、ワンストップ&トータルサポートの体制を構築している。

就職だけでなく、女性が働き続けられる職場内のサポート体制も必要であり、保育等を加えた事柄を同時に進めることが大切であるといった課題がある。民間企業にイクボス宣言をしてもらうことを勧めるとともに、北九州市が自らイクボス宣言を行い、職場環境整えながら、女性管理職を積極的に登用するために、そのポストに至るまでの人事管理等も総合的に進めている。

建設環境委員会視察報告

日程・視察先	参加 委員数
7月21日 福島県郡山市 7月22日 福島県福島市	10人
報告者 建設環境委員長 保谷 清子	

福島県郡山市

「ごみ屋敷条例に基づく行政代執行による強制撤去」について

近年、大量にごみをため込み迷惑をかける「ごみ屋敷問題」が全国的に発生している。郡山市も例外ではなく、周辺的生活環境が悪化し、対応が急務であった。

これまで「郡山市廃棄物の適正処理、再利用及び環境美化に関する条例(美化条例)」で対応してきたが、既存の法律及び条例の限界を補うことと、現在及び未来に対する事案に対応するため、①廃棄物及び有価物のどちらの堆積にも対応可能とする機能、②ごみ屋敷の原因を作っている者に、適正な状態とするよう義務を生じさせる機能、③実効性を担保させる機能が求められた。

このことにより、新たに「郡山市建築物等における物品の堆積による不良な状態の適正化に関する条例(ごみ屋敷条例)」が制定され、市が指導を行ったが改善されなかった案件について、全国で2例目となる行政代執行による強制撤去が行われた。

福島県福島市

「再生可能エネルギー導入推進」について

福島市では、「福島市再生可能エネルギー導入推進計画」を策定し、地域特性にあった再生可能エネルギーの導入を、市、市民、事業者が一体となって積極的に推進している。さらに、「福島市次世代エネルギーパーク計画」は、経済産業省資源エネルギー庁より平成27年10月に認定され、市全体を一つのエネルギーパークと見立て、市内各地の再生可能エネルギー関連施設を連携させ、市民の学習機会の拡充を図っている。

田園風景や里山、緑豊かな自然環境や景観との調和を保ちながら、地域資源を活用し、より地域特性にあった省エネを推進している。

再生可能エネルギー導入により、地球温暖化防止と環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会の構築等をはじめ、原子力災害からの復興や災害・非常時に強いまちづくりを進め、安全・安心なエネルギーによる「環境最先端都市」の実現、将来的には原子力に依存しない社会づくりに貢献することを目指している。



議会運営委員会視察報告

日程・視察先	参加委員数
11月21日 宮城県東松島市 11月22日 宮城県仙台市	9人 委員外議員 5人
報告者 議会運営委員長 浜中のりかた	

宮城県東松島市

「議会の災害復興への関わり」について

東日本大震災では、10m35cmの大津波により、1,100人以上の東松島市民が犠牲になった。市全体の約73%の家屋が被災、浸水地域は市街地の65%で、全国の被災市町村中最大の被害に見舞われた。

市災害対策本部には、議会は本部員として組織に組み込まれなかったが、当時の議長が朝晩の会議に、ほぼ毎日出席することによって情報の共有を続けた。議員は、議会の一員であると同時に、地域のリーダーも担い、避難所運営等を世話する組織の一員にもなっていたことから、情報網が麻痺している中、市災害対策本部が把握している被災状況を地域に提供するという役割は大きかった。

議会が、市災害対策本部に影響を与えずに活動するのは困難であるため、過去3度の地震経験を踏まえ、議会では個別地域の案件は持ち込まないという協議をし、執行部の負担になることや判断を鈍らせることは控えた。

震災発生後、災害対策特別委員会を設置。委員会では、議員活動を通しての、防災の自主組織や避難所運営等の情報交換を行った。また、市長の専決処分を容認する意思決定を行うため、執行部抜きで臨時会を招集するなど、口頭の紳士協定を結び、変則的な取り扱いで対応した。

分散している被災地域の市民の意見をどのように反映していくかが今後の課題となっている。

宮城県仙台市

「せんだい3.11メモリアル交流館」施設見学

東日本大震災を知り学ぶためのメモリアル施設として、平成27年12月に地下鉄東西線開通とともに開館。1階では立体地図、スライド映像などの情報発信。2階の常設展では、震災被害や復興の状況を伝える写真パネルや、証言が時系列に並び、津波により大きな被害を受けた地域の生活を知り、震災を学べる場となっている。



議会 NEWS①、議会 NEWS②、議員研修会

議会 NEWS ①

市議会15周年記念議場コンサートを開催しました

開催日時 12月4日(日) 1部:午前11時 2部:午後1時30分 開催場所 議会棟3階 議場
演奏者 矢口 里菜子さん(チェロ)、田口 翔さん(ピアノ) 来場者数 1部90名、2部95名

西東京市議会15周年を記念して、休日・2部構成による議場コンサートを開催しました。1部、2部ともに定員を超える申し込みがあり、過去最高の来場者数となりました。

演奏は、西東京市出身でソリスト、室内楽奏者の傍らオーケストラ奏者としても活躍するチェリスト 矢口里菜子さん、国内外で幅広く活躍するピアニスト 田口翔さんのお2人をお招きして行われました。

演目は、チェロとピアノの二重奏によるエルガーの「愛のあいさつ」を皮切りに、サン＝サーンスの「白鳥」やチェロ・ピアノソロなど全7曲、約45分の演奏が行われました。アンコールでは、ラフマニノフの「ヴォカリーズ」が演奏され、チェロとピアノの美しい音色に、会場からは盛大な拍手が送られました。

今回のコンサートでは、初めて議場にお越しになった方が約82%と多く、このイベントが議会を身近に感じていただけるきっかけとなったならば幸いです。

皆さんのコンサートの感想は？

当日149名の方がアンケートにご回答くださいました。ご協力ありがとうございました。

Q1. 曲目や演奏はいかがでしたか？

よかった 95.3% ふつう 1.3% よくなかった 0%

【主な感想】

・初めて議場コンサートに参加しました。議場の議員席に座らせていただき、また機会がありましたら、会議の傍聴をしたいと思いました。

Q2. 議場コンサートの開催は、どのようにお知りになりましたか？(複数回答)

1位 市報 54.8%
2位 議会だより 22.6%
3位 その他 8.9%

Q3. 年代は？

1位 70代 32.9%
2位 60代 25.5%
3位 80代 12.1%

Q4. 西東京市議会に望むことは？(複数回答)

1位 市民が議会に関心をもち、参加しやすくなること 26.6%
2位 議会の情報を積極的に発信すること 24.6%
3位 市民と議員の意見交換の場を設けること 21.9%

【主な感想】

・市民と議員との意見交換の場を強く望みます。
・子どもも議場見学したり、議員さんに直接意見を言える機会があるといいな！

Q5. これまでに市議会にお越しいただいたことはありますか？

はい 16.8% (複数回答) いいえ 81.9%
…市議会の傍聴 14.8%
…議場コンサート 74.1%
…その他 11.1%

※無回答など全ての回答を表記していないため、回答総数は一致しません。



議会 NEWS ②

議会を傍聴しませんか

市議会が開かれる本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます。ここでは傍聴の手順をご案内します。

Step1



田無庁舎議会棟3階議会事務局へお越しください。

Step2



受付で傍聴届にお名前、ご住所等をご記入いただいた後、傍聴証を受け取り、身に付けてください。

Step3



本会議は3階議場、委員会は4階委員会室(第1~第3委員会室)で行われます。

Step4

傍聴後は、議会事務局に傍聴証をご返却ください。

議員研修会

質問力を高める、議会力に活かす

平成28年10月19日に全議員を対象とした議員研修会を開催しました。

講師には、平成28年10月に行われた、全国市議会議長会研究フォーラムのパネリストで、龍谷大学政策学部教授 土山希美枝氏をお招きしました。

この中で、一般質問の大切さと、その「質問力」を高め議会の中でどのように生かすかなどの手法も踏まえ、自治体と〈政策・制度〉と市民、政策主体としての議会について講義をしていただきました。

研修に出席した議員からは活発な質疑応答が交わされ、充実した研修となりました。

当市議会では、議員の資質向上と政策立案のため、このような「議員研修会」を開催しています。

今後の研修についても、引き続き市民の皆さんに報告します。



議決結果(議案等、請願・陳情)、意見書、会議の開催状況等

請願・陳情の結果
(一)は付託委員会採択されたもの
○障害者の「移動支援」に作業者の送迎を含めることに関する陳情
○3館合築複合化に関する陳情 (以上、文教厚生)

○3館合築複合化案に関する陳情
○中央図書館・田無公民館を現在の場所に存続させることの陳情
○3館合築の棚上げに関する陳情
○3館合築に関する陳情
○子ども食堂に関する陳情 (以上、文教厚生)

今定例会で可決した意見書
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、財務大臣、国土交通大臣、総務大臣
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、法務大臣、国家公安委員会委員長

次回定例会のお知らせ
第1回定例会は2月27日(月)から開催予定
詳細は、決まり次第ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

会派名の変更
平成29年1月10日付で「民主改革フォーラム」から「民進党西東京」に名称が変更となりました。

第1回臨時会・第4回定例会 議案等の議決結果一覧

Table with columns for Party (会派), Item Name (件名), and Voting Results (賛成/反対/無所属). Rows include budget items, ordinance amendments, and other resolutions.

*1 議長は採決に加われないため、採決時は7名 *2 一部退席

Table of meeting schedules (会議名, 冊子, ホームページ) for the 1st Special Session and 4th Regular Session.

Meeting Schedule (会議の開催状況) for November and December, listing dates and topics for various committees and sessions.

編集後記
2年前、初めて市議会に入り、行政の手がける業務の量と範囲の広さに圧倒されました。
地方分権改革後、自治体の役割は以前にも増して重く、平成28年度は在宅療養連携支援センター「にしのわ」が設置されるなど、新たな行政需要への対応が求められるようになりました。